

所 管 事 項 調 査 ②

目 次

ページ

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 中学校教科書採択結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 2～5 |
| 2 | 令和6年度全国学力・学習状況調査結果について・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6～8 |
| 3 | 長崎市学校等施設包括管理業務委託に係る受託候補者の決定について・・・・・・・・ | 9～12 |

教 育 委 員 会
令 和 6 年 9 月

1 中学校教科書採択結果について

(1) 教科書採択について

中学校教科用図書の採択替えに伴って、令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択を本年度実施する。

(2) 教科書採択の基本方針

ア 採択を適正かつ公正に行うとともに、長崎市教科書採択審議会規則に基づき、開かれた採択を推進する。

(ア) 採択の公正確保及び採択事務の円滑な遂行に支障をきたさないよう、採択業務終了後、次の事項について公開することを基本とする。

a 採択結果及び採択理由

b 採択審議会等の委員名 など

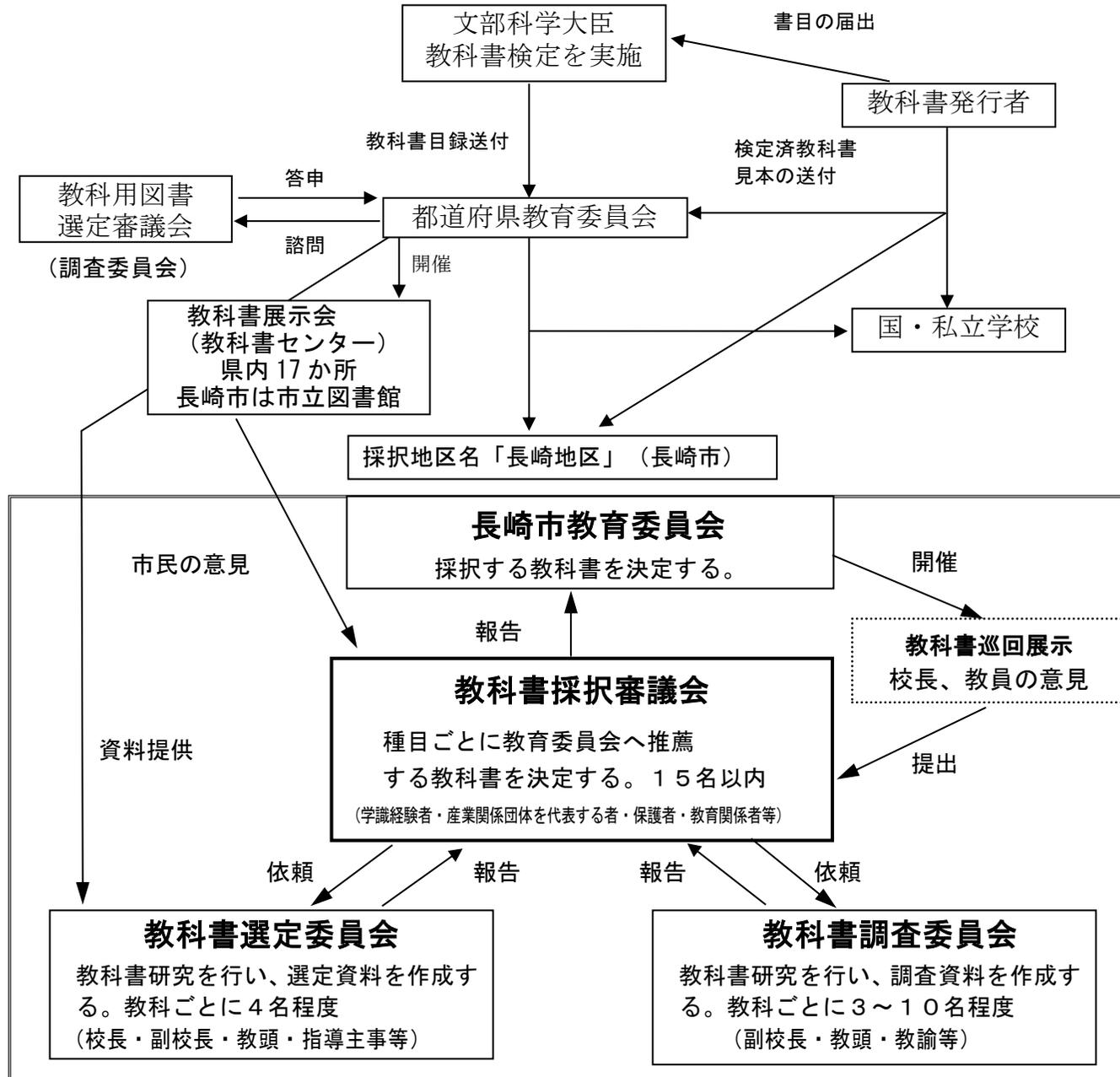
(イ) 採択審議会に学識経験者、保護者代表、産業関係団体の代表等を加える。

イ 教育委員会が責任をもって採択を行うことを、手順の上でも明らかにする。

(ア) 教科書採択審議会の他に、教科書調査委員会及び教科書選定委員会を設置する。

(イ) 各会の審議・調査及び報告は、見本の提供があった全者を対象とする。

(3) 教科書採択の流れ



(4) 教科書採択審議の経過

ア 教科書調査委員会	5月14日～5月31日	3回実施
イ 教科書選定委員会	5月8日～6月24日	4回実施
ウ 教科書採択審議会	5月1日、7月9日 7月10日、7月17日	4回実施
エ 教育委員会	4月24日、6月28日 7月22日、7月30日	4回実施

(5) 採択結果

種 目	発 行 者
国 語	光 村 図 書
書 写	教 育 出 版
地 理	東 京 書 籍
歴 史	東 京 書 籍
公 民	東 京 書 籍
地 図	帝 国 書 院
数 学	啓 林 館
理 科	東 京 書 籍

種 目	発 行 者
音 楽	教 育 芸 術 社
器 楽	教 育 芸 術 社
美 術	光 村 図 書
技 術	開 隆 堂
家 庭	開 隆 堂
保健体育	G a k k e n
英 語	東 京 書 籍
道 徳	東 京 書 籍

(6) 公表

ア 市政資料コーナーにおける公開（令和6年9月1日）

- (ア) 令和7年度年度使用 中学校教科用図書 一覧
- (イ) 委員名簿（教科書採択審議会・教科書選定委員会・教科書調査委員会）
- (ウ) 教科書採択審議の経過
- (エ) 教科書採択審議会 審議会資料
- (オ) 教科書選定委員会 選定資料
- (カ) 教科書調査委員会 調査資料
- (キ) 意見集計結果（校長・教職員・市民）
- (ク) 長崎市教科書採択審議会規則
- (ケ) 教科書採択の基本方針

イ 長崎市教育委員会ホームページにおける公開（令和6年9月1日）

2 令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

(1) 調査の概要

ア 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

イ 調査内容

(ア) 教科に関する調査

○ 小学校 … 国語、算数 ○ 中学校 … 国語、数学

(イ) 質問紙調査

○ 児童生徒に対する調査 … 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

○ 学校に対する調査 …… 指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

ウ 調査期日 令和6年4月18日(木)

エ 調査実施校数及び児童生徒数

(ア) 実施校数 103校 【調査対象者の在籍する学校の総数】 (小学校：67校、中学校：36校)

(イ) 参加児童・生徒数

・ 小学校6年生 2,785人 ・ 中学校3年生 2,447人

オ 調査結果の公表について

(ア)「学力調査結果の概要」「児童生徒質問紙調査結果の概要」「市全体の平均正答率」、「改善の方向性」についての公表を行う。

(イ)長崎市として、個々の学校名を明らかにした結果の公表は行わない。

(ウ)各学校は、自校の分析結果を踏まえた改善方策の公表を行う。原則として、数値による公表は行わない。

(2) 結果の概要

ア 学力調査結果の概要（「長崎市及び県・全国の平均正答率」、「全国との差」）

※ 数値単位は、%

		小 学 校 6 年		中 学 校 3 年	
		国語	算数	国語	数学
R6	長崎市の正答率	67	63	56	48
	県の正答率	67	62	56	49
	全国の正答率	68	63	58	53
	全国との差	-1	0	-2	-5

- 本市の平均正答率については、調査3項目(小学校：国語、中学校：国語・数学)において全国を下回った。
- 下回っている3項目においては、小学校国語が-1、中学校国語が-2、中学校数学が-5 である。
- 昨年度（令和5年度）と比較した結果は次のとおり
 - ・小学校国語、0から-1となり1ポイント下回った。
 - ・小学校算数、-2から0へと2ポイントの改善が見られる。
 - ・中学校国語、0から-2となり2ポイント下回った。
 - ・中学校数学、-3から-5へと2ポイント下回った。

<参考1> 令和5年度の学力調査結果

		小 学 校 6 年		中 学 校 3 年		
		国語	算数	国語	数学	英語
R5	長崎市の正答率	67	61	70	48	42
	県の正答率	66	60	69	48	40
	全国の正答率	67	63	70	51	46
	全国との差	0	-2	0	-3	-4

令和6年度全国学力・学習状況調査 学習状況や生活習慣の調査結果の概要（児童生徒質問紙調査からの抜粋）

特徴的な項目について（※ 全国との差が0以上は○、-は△、+1.0以上の場合◎と評価）

質問項目	小学校			中学校			質問項目	小学校			中学校		
	評価	令和6年度	差	評価	令和6年度	差		評価	令和6年度	差	評価	令和6年度	差
1 朝食を毎日食べている	○	全国 93.7 市 94.4	0.7	◎	全国 91.2 市 93.2	2.0	9 人の役に立つ人間になりたい	◎	全国 95.9 市 97.6	1.7	◎	全国 94.6 市 96.4	1.8
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている	◎	全国 82.9 市 85.6	2.7	◎	全国 80.7 市 84.7	4.0	10 学校の授業以外に普段（月～金）1日当たり1時間以上勉強する	◎	全国 54.6 市 58.2	3.6	△	全国 64.3 市 53.8	-10.5
3 毎日、同じくらいの時刻に起きている	○	全国 91.6 市 91.7	0.1	○	全国 92.5 市 93.3	0.8	11 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	○	全国 83.5 市 83.5	0.0	○	全国 76.1 市 76.5	0.4
4 授業以外で、普段（月曜日から金曜日）、スマートフォンやコンピューターなどのICT機器を、勉強のために使っている（1時間以上）	◎	全国 19.8 市 29.3	9.5	○	全国 16.6 市 16.9	0.3	12 学級の友達と意見交換をする場面でICT機器をどの程度使っていますか。（週3回以上）	◎	全国 59.5 市 70.4	10.9	◎	全国 64.4 市 72.0	7.6
5 自分によいところがあると思う	◎	全国 84.1 市 87.5	3.4	◎	全国 83.3 市 87.2	3.9	13 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	◎	全国 81.9 市 83.3	1.4	△	全国 80.3 市 78.0	-2.3
6 先生は、よいところを認めてくれている	◎	全国 89.9 市 91.5	1.6	◎	全国 87.3 市 91.8	4.5	14 先生は、間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている	◎	全国 93.0 市 95.3	2.3	△	全国 84.9 市 84.6	-0.5
7 将来の夢や目標を持っている	◎	全国 82.4 市 84.5	2.1	○	全国 66.3 市 66.4	0.1	15 国語の勉強が好き	○	全国 62.0 市 62.1	0.1	△	全国 80.3 市 78.0	-2.3
8 いじめは、いけないことだと思う	○	全国 96.7 市 97.5	0.8	○	全国 95.7 市 95.8	0.1	16 算数（数学）の勉強が好き	△	全国 64.3 市 63.2	-1.1	△	全国 87.2 市 86.5	-0.7

- 「早寝・早起き・朝ご飯」については全国平均を上回った。小・中ともに概ね良好である。
- 家庭で学習のためにICT機器を1時間以上使う割合は、小学校で全国平均を大きく上回っている。
- 「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」「いじめは、いけないことだと思う」という項目は、引き続き全国平均より高く、健全で良好な意識をもっている。
- 「学校の授業時間以外に普段（月～金）1日当たり1時間以上勉強する」について、小学校では全国平均を上回っているが、中学校では10ポイント以上下回っている。
- 「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用している（週3回以上）」について、小学校、中学校ともに全国平均を大きく上回っている。
- 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」について、小学校では全国平均を上回っているが、中学校では全国平均を下回っている。
- 「国語・算数（数学）が好き」については、小学校国語が全国平均と同じ程度。その他は下回っている。

3 長崎市学校等施設包括管理業務委託に係る受託候補者の決定について

(1) 事業概要

学校施設、公民館などの対象施設（128施設）の保守点検や修繕を包括的に専門的知識のある民間事業者へ委託し、効果的・効率的な維持管理を図るもの。

また、学校庁務業務をあわせて委託することで、業務の均質化を図り、教職員の働き方改革にも寄与するもの。

(2) 事業期間

令和7年4月～令和12年3月（5年間）

(3) 対象施設

施設種類	施設数
学校施設	98
公民館（指定管理除く）	15
認定こども園・保育園	5
放課後児童クラブ	7
児童館	3
合計	128

(4) 対象業務

- ア 保守点検業務
- イ 修繕業務
- ウ マネジメント業務（統括管理、不具合通報への対応等、施設巡回）
- エ 建築基準法第12条に基づく点検業務
- オ 学校庁務業務

(5) 仕様書の特徴

ア 保守点検や修繕の再委託にあたっては、市内事業者を最大限活用することとし、市域経済・産業の活性化の観点から発注率、件数、金額において現行水準と同等以上の条件とすること。また、再委託事業者の選定においては、価格の妥当性、公平性を考慮した選定方法とすること。

イ 市内事業者が参加できない業務については、その理由を書面により本市に提出し、承認を得ること。

ウ 市内事業者の件数及び金額等の実績報告を年1回以上行い、本市の確認を受けること。

エ 庁務業務作業員は、業務にふさわしい制服を着用し、職員、児童生徒及び来校者に対する接遇等で適切な対応を行うこと。また、業務遂行において知り得た情報を漏洩することがないように必要な措置を講じること。

(6) 決定事業者

トラスティ建物管理・大和総業共同事業体

	企業名	所在地	資本金	設立年月	業務内容
代表構成員	(株)トラスティ建物管理	長崎市桶屋町25番地	1,000万円	平成19年7月	総合ビル管理
構成員	(株)大和総業	長崎市淵町3番9号	1,000万円	昭和61年3月	建築物環境衛生管理等

(7) 審査会

ア 日時 令和6年8月27日(火) 8時30分～12時30分

イ 審査会委員(全員出席)

区分	団体名	役職	氏名
会長	長崎大学経済学部	教授	井田 洋子
職務代理者	日本公認会計士協会北部九州会長崎県部会	会員	林田 真知子
委員	長崎市立中学校校長会	会長	甲斐 修司
委員	長崎市立小学校校長会	会長	片岡 勝志
委員	長崎商工会議所	専務理事	松永 安市
委員	長崎市教育委員会	部長	大場 一寿

ウ 結果

番号	区分	大項目	中 項 目	配点	トラスティ建物 管理・大和総業 共同事業体	A 者
1	技術点	基本事項	【実施体制】業務スケジュール	30	25	23.75
2			【実施体制】業務フロー	30	25	27.5
3			【企業の実績】施設の保全に関する業務実績	60	60	60
4			【地元経済への配慮】市内事業者の参加の有無	30	30	15
5			【地元経済への配慮】市内事業者の活用、再委託業務の発注に関する考え方	60	57.5	47.5
6		管理運営 体制	【管理運営】組織体制・人員配置・財務状況	48	42	48
7			【管理運営】不具合等発生時の対応	48	44	30
8			【管理運営】総括責任者の仕様の理解度、能力	12	9.5	10
9		事業計画	【事業計画】業務の品質管理	72	57	60
10			【事業計画】参加者の強み等を活かした独自提案	90	71.25	67.5
技術点 合計				480	421.25	389.25
11	価格点	価格	提案価格	120	96	90
合 計 (600 点満点)				600	517.25	479.25
結 果					決定	非決定

エ 受託候補者を評価したポイント

- (ア) 地域の特性を理解し、再委託事業者と連携しながら、実施可能な業務は全て市内業者が担うこととしている。
- (イ) 各業種の組合との連携（保守点検・修繕のほか災害復旧派遣を含む）について、基本合意書を交わすなど具体性がある。
- (ウ) 学校の緊急時には休日、夜間であっても対応する、また、災害時には周辺の危険個所を巡回することとしている。
- (エ) 学校庁務業務を学校間で比較検証し、業務の均質化と教職員の負担軽減を図るようにしている。
- (オ) 再委託事業者、学校庁務作業員に対し、ハラスメントの研修を行うなど研修内容、教育の充実を図ることとしている。

(8) 債務負担行為額と提案価格との比較

(単位：千円)

債務負担行為限度額①	提案価格＋ 保守点検・修繕費用②	② － ①
4, 245, 542	4, 190, 414	▲55, 128